



ガトーショコラ
400円
残金
680円

今回は予算の都合で
デザートに。次はカ
レーを食べたい!



4 モリソン万年筆 & カフェ

大正7年創設の国産万年筆「モリソン万年筆」の本店跡を活用した町家カフェ。昼はカレーやパスタがおいしいカフェ、夜はスキレット料理にお酒がすすむ和風バーが楽しめる。

住 御所市西町1069
☎ 0745-63-1881
時 11:30~15:00
18:00~22:00
休 不定休 (SNSを確認)
P あり (3台)



3 遠見遮断

中世の名残で外から集落の様子がわからないよう、入り口でわざとかぎ型に曲げた道。現存するのは北西の1か所のみで、角には高札が掲げられ長命地蔵が祀られる。



お賽銭
10円
残金
270円

6 吉祥草寺

修験道の祖・役行者出生の地で境内には産湯の井戸も残る。霜月祭の日には山伏による「探灯大護摩供」が行われる。※御所まちでの行者おねりは中止

住 御所市茅原279
☎ 0745-62-3472
拝 9:00~16:50
P あり



7 圓照寺 (浄土真宗本願寺派)

天文15年(1546)に桑山源吾によって浄徳寺として建立され、のち本願寺第12代准如上人から「圓照寺」の寺号が下賜された。大和五箇所御坊の一つに数えられる。境内には大和餅を発明した浅田松堂の墓がある。

住 御所市1490
拝 7:30~17:00

お賽銭
10円
残金
260円



8 恵比須神社

約1200年前、御所まちができる以前から集落の氏神として鎮座していた神社。江戸時代に商家が増えたことにより、商売繁盛の守り神である事代主命と恵比須さまが祀られるようになった。

住 御所市中央通り2丁目
P なし

運賃
240円
残金
0円

御所駅 5分 大和八木駅

旅を終えて GOAL

実は郡山城の回で歩いた下街道の南の続きにあるのがこの御所まち。9月号の自然と暮らすで紹介した「大和餅」の発祥の地でもあります。今までの取材が繋がる今回の旅はライターとしての面白さもありました。

※掲載の価格は9月16日時点のもの



食と祭りの秋がやってきた!! 霜月の御所まちをひたすら食べ歩く

秋の行楽シーズン。僕は花より団子ならぬ「紅葉より団子」。うまいものをたらふく食べたい! 今回は、3年ぶりに「霜月祭」が開催される御所まちを巡りながら、予算の許す限りひたすら食べ歩く。

📷 うだつの町家と土蔵の町並み ①

今月の旅人
はにわ

2022円の旅

Travel of 2022.11

2,022円の旅ルール
その1: 所持金は2,022円 (交通費込み)
その2: 出発は近鉄・JR奈良駅、近鉄大和八木駅のいずれか
その3: 車での移動は× (ただし公共交通機関は○)

霜月祭 11/13 (日) 場所・御所まち一帯

毎年11月第2日曜に行われる霜月祭が3年ぶりに開催。今回は由緒ある町家の公開やテイクアウトグルメの出店に加えて、町あるきが楽しくなる新たな企画なども予定中!



写真は数年前の開催の様子

御所まちとは…

江戸時代初期に桑山元晴によって整備された陣屋町。葛城川を挟んで、商業都市の西御所、寺内町の東御所と2つの町が形成され、寛永6年(1629)の廃藩後も中

南和の中心地として栄えた。江戸時代の検地絵図が使えらるほど町割、水路ともに当時の姿をよく残している。

START

大和八木駅

5分

飲傍駅

3分

御所駅

運賃
240円
残金
1,782円

1 御菓子司 あけぼの

明治18年に元力士の六田平七が創業。店名の由来は四股名だそう。銘菓「葛城路」を代表に、フルーツ大福など、時代の流行に合わせた和菓子も並ぶ。

住 御所市大広町328
☎ 0745-62-2071
時 7:30~19:30
休 1/1・2 P あり (3台)

ぶどう大福
350円
残金
1,432円

2分

2 ミートショップ北田

厳選の大和牛や米沢豚を中心に扱う創業92年の老舗精肉店。揚げたての総菜も絶品でササミカツは僕の好物!

住 御所市新地1055 ☎ 0745-62-2338
時 7:00~18:00 休 水曜 P あり (1台)

コロッケと
ササミカツ
350円
残金
1,082円